

越前町地域福祉活動計画（概要版）

『お互いさんのまちづくり』 をめざして



地域福祉とは「住み慣れた地域で、お互いに支え合って暮らすためのとりくみ」です。
地域住民や福祉に関わる方々に、地域福祉活動への理解と協力を呼びかける計画です。

計画策定にあたって

●計画策定の背景と目的

少子高齢社会の到来や家族形態の変化、地域住民のつながりの希薄化、長引く経済不況などにより、福祉を取り巻く社会背景は大きく変容しています。高齢者や障害者など生活に支援を必要とする人々の状況はますます厳しくなり、ひきこもりや虐待、家庭内暴力などの新たな社会問題も発生しています。

一方で、ボランティアやNPOなどの活動が活発化し、住民の意識も大きく変化しています。そして、地域での助け合い、支え合いの重要性が再認識されてきています。

こうしたなか、社会福祉の基礎構造改革が進められ、わたしたち「社会福祉協議会」(以下、社協)は、“地域福祉の推進を図ることを目的とした団体”であると明記されました。

本計画は、越前町社協が地域福祉を推進していくための具体的な目標を明らかにし、社協の活動や事業を総合的に展開していくための指針として策定します。

●計画の期間 平成19年度～平成23年度

本計画の期間は、平成19年度から平成23年度の5年間です。計画の進行について適切な評価を行い、計画の見直しが必要になった場合には、柔軟に対応します。

越前町の現状と町民の声

●越前町をとりまく状況

- ◆ 総人口は23,995人で昭和60年以降減少しています。
- ◆ 65歳以上の人口割合は25.6%で高齢化が進行しています。
- ◆ 世帯数は6,671世帯で年々増加しています。また、1世帯あたりの人員は3.60人で昭和60年以降減少傾向にあり、核家族化が進行しています。
- ◆ 事業所開設などで町外からの流入が増えた一方、町外への通勤者も増加し、ベッドタウン化が進行しています。日中、高齢者と子どもたちを中心とした居住形態です。
- ◆ 女性就業率は全国平均より高く、女性の社会参加が高く、育児、介護などへのニーズが高いことが予想されます。
- ◆ 出生率・出生数は減少傾向にあり、少子化が進行しています。一方、母子家庭世帯が微増しており、学童保育児童は増加しています。
- ◆ 身体障害者手帳交付者数1,402人、療育手帳交付者数124人、精神障害者保健福祉手帳交付者数56人です。手帳保持者の割合は、いずれも全国平均より高くなっています。
- ◆ 要介護認定者数は940人で年々増加しています。特に要支援者が増加しています。
- ◆ 生活保護は35世帯46人でいずれも増加傾向にあります。

※掲載した数値は、平成17年国勢調査および越前町統計資料による。

●町民アンケート結果

計画策定にあたり、町民のみなさんに、アンケートにご協力いただきました。

実施時期: 平成17年9月
 調査対象: 越前町在住の16歳以上の方を対象に無作為で2,000人を抽出
 調査方法: 郵送配布・郵送回収
 回収状況: 回収数:1,107票 回収率:約55%

◎ これからも越前町に住みたいという人が多い。一方で生活の利便性や医療面などで不満を抱える人が多い。

◎ 暮らしやすい地域をつくるには、差別や偏見をなくすなどの意識改革が必要とされている。

◎ 地域での協力体制は十分といえないが、近所どうしの助け合いやつきあいを大切にしたいと考えている人が多い。

◎ 福祉に、多くの住民が関心を示している。しかし、2割近くの人に関心を示していないことも事実である。

◎ 日頃から地域活動に参加している人が多い。地域の取り組みとして、日常的な協力、防災・防犯活動、高齢者との交流や子育て支援など、地域に根ざした活動が望まれている。

◎ 地域での助け合いを活発にするため、その大切さを学ぶ機会や活動への参加方法などの情報提供が必要とされている。



●「計画のねらい」

その1 社協の存在意義・アイデンティティを確立する	その2 住民との連携を深める	その3 社協の運営基盤を強化する
<ul style="list-style-type: none"> ・将来の地域ビジョンを明確にする ・社協の存在感をアピールする ・頼れる社協を確立する ・住民にわかりやすい存在となる 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の福祉意識を高める ・住民とのコミュニケーションを深める ・住民パワーを高め豊かな地域社会をつくる ・地域の福祉ネットワークをつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の意識改革と質の向上を図る ・コストを削減し、財源を効率的に活用する ・事業評価を行い効果的な事業運営をめざす

ワークショップ・策定委員会の流れ



2006.04.13 第1回住民ワークショップ
グループワーク1
「越前町のよいところと課題」
グループワーク2
「身近な地域福祉を考えてみよう」



2006.06.07 第1回策定委員会

- 委嘱書の交付
- 計画の趣旨説明
- 本町の現状と課題を説明
- ワークショップの報告
- 計画目次案と基本理念案について
- 基本計画の現状と課題について

2006.06.26 第2回住民ワークショップ
グループワーク
「基本理念と基本計画を考えよう」

2006.07.25 第2回策定委員会

- 地域福祉に関するアンケート調査・基本理念・基本目標・計画の構成について
- 住民ワークショップの報告
- 今後の方策について
- 基本計画の現状と課題について

2006.09.28 第3回住民ワークショップ
グループワーク1
「基本理念の検討」
グループワーク2
「基本計画ワークシートの検討」



2006.10.25 第4回住民ワークショップ
グループワーク1
「重点施策の尺度づくり」
グループワーク2
「基本計画ワークシートの重点施策 検討」

2006.12.05 第3回策定委員会

- 住民ワークショップの報告
- 基本理念、基本計画について

2007.02.03 第4回策定委員会

- 最終素案の確認



越前町地域福祉活動計画 基本構想・基本計画

基本理念

お互いさんのまちづくり

～おせっかいも心地よい～

豊かな自然環境と、海や山、平野の幸に恵まれた越前町。

これらの豊かさは、心身の健康とゆとりを生み、あたたかい心で助け合う地域性を育んできました。

本町が育ててきた自然の恵みと地域のつながりを大切に、自分が住むまちへの愛着とほこりをもって、あたたかい心でたすけあいながら住み続けられるまちをめざします。

そこで計画の理念を、「お互いさんのまちづくり ～おせっかいも心地よい～」と決めました。

「お互いさんのまちづくり」には、お互いの信頼と尊重を基本とした「おせっかい」も重要です。この「おせっかい」は、さりげなくお互いを思いやり、必要なときに手を差し伸べることのできる関係です。

3つの基本目標

目標1

みんなで参加する
地域づくり

地域福祉を進めるためには、住民がお互いを理解し合い、主体的に協力しあうことが大切です。

- 福祉教育の展開
- ボランティア・NPOの支援
- 当事者組織の支援
- 小地域ネットワークの展開

目標2

誰もが安心して暮らせる
地域づくり

人々が安心して暮らすためには、住み慣れた地域で充実した福祉サービスを利用できることが大切です。

- 人権擁護・総合相談・情報・調査・調整の展開
- 在宅福祉サービスの展開
- 介護保険事業の展開

目標3

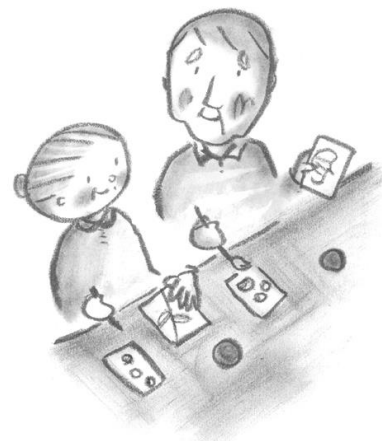
地域づくりを支える
基盤整備

社協は、地域福祉を推進する団体として、住民とともに住民のための活動を実施します。

- 組織の整備
- 財政の強化

目標1 みんなで参加する地域づくり

	推進項目	今後の展開方向と施策	
目標1 みんなで参加する地域づくり	1 福祉教育の展開	① 学校との連携	・福祉協力校の指定をし、体験や交流活動を通して福祉の心を育てます。
		② 地域との連携	・地域の中で福祉を学ぶ環境をつくれます。
	2 ボランティア・NPOの支援	① ボランティアセンターの機能強化	・ボランティア活動に参加するきっかけづくりを推進します。 ・ボランティアコーディネーターの養成と相談体制を充実します。 ・タイムリーなボランティア情報を提供します。 ・ボランティア講座を開催します。 ・災害ボランティアのネットワーク化を図ります。 ・福祉、文化、教育、国際交流など幅広い分野のボランティアを育成します。
		② ボランティア・NPO活動への支援	・住民どうしがたすけあうしくみを確立します。 ・地域住民や企業などへ活動内容をPRします。 ・企業、福祉施設、学校、地域などのネットワークをつくれます。
	3 当事者組織の支援	① 当事者の組織化	・当事者が発言しやすい地域をつくれます。 ・当事者の声が反映されるような組織づくりを支援します。 ・当事者の主体性や活動を支援できる体制を整備します。
		② 当事者活動への支援	・組織運営マニュアルの作成やリーダー育成の支援をします。 ・当事者の生活に役立つ社会資源を紹介します。 ・当事者が自立して活動できる環境をつくれます。 ・当事者が自分の体験を生かして情報交換ができる場をつくれます。
	4 小地域ネットワークの展開	① 小地域ネットワークの基盤整備	・福祉推進委員の活動をPRします。 ・福祉推進委員、民生委員児童委員や地域役員との協働体制を整備します。 ・福祉マップの作成と、地域での見守り体制をつくれます。
		② 小地域ネットワーク活動への支援	・住民主体によるサロン運営を支援します。 ・サロンの運営等に関する相談体制の整備、および財源を確保します。 ・高齢者だけでなく、障害者、子育て家庭などのサロンの活用



* ふれあいサロン: 高齢者が生きがいや仲間づくりを目的に地域の皆さんが集まれる場

目標2 誰もが安心して暮らせる地域づくり

	推進項目	今後の展開方向と施策	
目標2 誰もが安心して暮らせる地域づくり	1 人権擁護・総合相談・情報・調査・調整の展開	① 人権擁護の推進	・差別や偏見のない地域をつくれます。 ・地域の要支援者の早期発見と早期対応に努めます ・日常生活自立支援事業(*1)、成年後見制度(*2)等の周知と利用しやすい環境づくりに努めます。
		② 総合相談機能の整備	・専門的な相談体制の整備および相談員の資質向上を図ります。 ・民生委員児童委員、福祉推進委員を中心にした地域での相談体制を確立します。 ・相談を通じた地域の福祉課題を把握します。 ・個人情報の保護を徹底します。 ・苦情相談の窓口をPRします。
		③ 情報機能の整備	・ホームページで最新情報を提供します。 ・町民の意見を反映した広報紙をつくれます。 ・出前福祉講座や住民懇談会を実施します。
		④ 調査機能の整備	・地域の実態調査や福祉マップ作成を行います。 ・アンケートやワークショップ、住民懇談会を実施します。
		⑤ 調整機能の整備	・サービス評価システムの確立と、「第三者評価」を実施します。 ・利用者の苦情に対応するためのしくみをつくれます。
	2 在宅福祉サービスの展開	① 障害者向けのサービス	・利用しやすい有償運送事業(有料の外出支援サービス)を実施します。 ・NPOやボランティアグループを育成します。 ・ニーズに応じた自立支援サービスを実施します。 ・障害者の交流の場を提供します。 ・福祉スキューバ体験を継続実施します。
		② 高齢者向けのサービス	・給食サービスによる安否確認と食生活の援助を行います。 ・寝具洗濯乾燥サービス事業を継続実施します。 ・ひとり暮らし高齢者宅の家屋小修理、防災点検を継続実施します。
		③ 介護者向けのサービス	・介護者の実態把握とアンケート調査を実施します。 ・介護者のつどい(交流会)などリフレッシュ事業を実施します。 ・在宅介護者のサークルづくりを支援します。



(*1) 日常生活自立支援事業: 認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等で判断能力が十分でない方が福祉サービスを適切に利用する権利を擁護する

(*2) 成年後見制度: 上記の方々が福祉サービスの契約、金銭管理、遺産相続などで不当な扱いを受けないように成年後見人が保護する

		推進項目	今後の展開方向と施策
目標2 誰もが安心して暮らせる地域づくり	2 在宅福祉サービスの展開	④ 介護予防に関する 住民向けのサービス	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な介護講座(認知症予防・運動機能低下予防など)を開催します。 「ふれあいサロン」のメニューを開拓します。 公共施設を利用した介護予防事業を実施します。
		⑤ 児童向けのサービス	<ul style="list-style-type: none"> 子育てサロンを充実します。 すみずみ子育てサポート事業の利用を促進します。 児童向けサービスの企画・運営を行います。 子育てしやすい環境を整備します。
		⑥ ひとり親向けのサービス	<ul style="list-style-type: none"> 当事者同士の交流や情報交換の場をつくります。 地域の潜在的なニーズを把握します。
	3 介護保険事業の展開	① サービスの質・量の向上	<ul style="list-style-type: none"> 居宅介護支援事業、訪問介護事業、通所介護事業を実施します。 専門資格の取得を推進します。 地域と連携したトータルサポート体制を構築します。 サービス評価や事業所評価を実施します。
		② 効果的・効率的な事業運営	<ul style="list-style-type: none"> 経営診断事業の実施による採算性を確保します。 将来を見すえ、社協としての介護保険事業のあり方を検討します

目標3 地域づくりを支える基盤整備

		今後の展開方向と施策
目標3 地域づくりを支える基盤整備	1 組織の整備	<ul style="list-style-type: none"> 専門性を高め、時代のニーズに即応できる職員体制を整備します。 組織強化のための研修を実施します。
	2 財政の強化	<ul style="list-style-type: none"> 会費などの使途目的をPRし、住民への還元が目に見える事業を展開します。 独自の収益事業を検討していきます。 社会福祉基金の有効活用と、災害等に備えたボランティア基金



越前町地域福祉活動計画

発行元 **社会福祉法人越前町社会福祉協議会**
 所在地 福井県丹生郡越前町西田中8-20-1
 電子メール e-shakyo.honsyo@cronos.ocn.ne.jp
 ホームページ <http://www9.ocn.ne.jp/~e-shakyo/>

電話 (0778)34-2388
 ファックス (0778)34-0794